

# 討論会から見えること

鳥取大学工学部物質工学科 榊原 正明

sakaki@chem.tottori-u.ac.jp

## 1. 初めに

本学の学生が掲示板に書き込みを行って逮捕される事件を受け、授業等の機会を捉えて「学生討論会」を行い、事件についての意見、再発防止策について学生同士で討論させてくださいとの指示があった。討論会は新聞記事により事件の概要を学生に知らせて、「今回の事件を教訓に、各関係部局等で「情報モラル（情報倫理）」について再認識して頂くよい機会だと思いますので、大いに討論・議論して頂ければ幸いです。」との配布資料で行われた。多数の教員が、講義・ゼミ等で学生討論会を開き、三千名以上の学生が討論会に参加した。事件からすぐであり、事件を起こした学生の経緯が分からないままの討論に学生や教員は困っていたようである。討論の報告から、討論会自体を意味なしとするものから意義があるとするまで、いろいろな考え方が明らかになった。まとめ方も教員が行った場合、学生が行った場合もあり、規模が異なるクラスごとの報告であり、報告の形態が統一されておらず、定量的な取り扱いはできないが、主に情報教育の面から報告する。それに関連して、大学の教育用ネットワークを利用した場合、だれがどこに接続しているかのログを利用して、学外へのアクセス状況を調査した。

## 2. 討論会での意見

クラス単位で提出された報告書から抽出した意見の一部を示す。

### 2. 1 事件に対する意見

リテラシで勉強した内容がしっかり学生に浸透していない。インターネットは如何に情報を伝えるのかも知らないのか。何百万人の人がネットの掲示板を見ているということを知覚すべき。掲示板は簡単に利用できるからこそ危険でもある。パソコンを使うための技術だけを教えたり、覚えたりするのは危険だと思った。

情報を扱うことの危険性を知らない人またはそれを学んでいない人が多すぎる。  
安易な情報発信の結果を深く考える必要がある。逆探知できるということに気がつかなかったのか。

サイトのあり方にも問題があるのではないかと。匿名で投稿できる掲示板そのものにも問題がある。  
掲示板の運営者にもしっかりした倫理観を持ってほしい。掲示板の管理者に責任があるのではないかと。

顔が見えないからといって強くなった気になって掲示板に書き込む人がいるけれどどうかと思う。  
「2ちゃんねる」の愛好家には厳重注意。「2ちゃんねる」をなくしてほしい。  
インターネットの掲示板自体が何でもありそうな感じだからどこまで許されるかがはっきりしない。

### 2. 2 再発防止策

誰がやったのかわかるということを知ってもらう。情報のプライバシーがないことを知らせるべき。情報リテラシなどの教育科目及び掲示板を通じてインターネットのルール、マナー及び犯罪を含めた法律的な内容の講義や情報を多く取り入れる。

大学入門ゼミのときに情報倫理について議論する。

**情報リテラシ**の講義でこの事件を紹介してネット利用のモラルを教育する。

**情報リテラシ**の授業の中でこの事件を教訓に注意を促す。

インターネットのサイト等の徹底した管理が必要。「2ちゃんねる」に規制をかけるべき。  
簡単に「2ちゃんねる」のような大きな掲示板にアクセスできないようにすることも必要。  
個人のパソコンから「2ちゃんねる」につながるのではなく、他のパソコンを通してからつながるのはどうか。

**入学試験に工夫**を加える。大学はもっと常識のある人を選ぶ方法を考えるべき。  
小さいときから何が正しい情報なのかを見極める力をつけるための教育が必要。  
人を思いやる倫理を教えなす。幼少時の情操教育が問題。中学くらいまでに教えておくべき。

ものの善悪は学校でなく、親の教えるべきこと。

ネット上での悪質ないたづらを取り締まる**法律**を厳しいものにする。ネット上にもものすごい罰則がある、とか書く。ネット犯罪をネット警察に任せて厳しく罰する。警察の取り締まりも強化する。

年齢に関係なく、氏名を学内に公表する。事件を起こした際の大学の強硬な態度をあらかじめ伝えておく。事件を起こした学生を退学**処分**にして、そのことを公表してこのような事件を起こした学生に厳罰で臨むことを明らかにする。

大学がいまさら何かを教えたり、対策を講じたりする次元の問題ではない。  
大学側でできる再発防止策はない。大学は自ら学ぶ場であって道徳を強制的に学ぶ場ではない。  
大学でいちいち対処する必要はない。

小中高で道徳の時間に情報倫理を学ぶ。科目として情報倫理があつていいと思う。  
情報倫理の教育を徹底する必要がある。パソコン云々以前の**道徳教育**が必要。

もっと新聞を読め。社会情勢を教えるような教育があつてもいい。  
現代社会で起きている物事について深く考えさせる講義を必修にする。

### 3. 教育用情報ネットワークのログ

『教育用情報ネットワーク』は「オープンスペースに配置された不特定多数が使うためのネットワーク」という概念のもとに発足した。したがって『教育用情報ネットワーク』を学内の研究用ネットワークから完全分離・独立したネットワークとするために、ファイアウォールが設置してある。さらにプロキシサーバを経由した **http** や **ftp** 等の限られたポートでの通信ができるようにしている。**http** や **ftp** は、プロキシ経由でのサーバのやりとりが可能だから「2ちゃんねる」などの掲示板への書き込みを防ぐのは難しい。しかし、プロキシ経由の通信は全てログが記録されており、今回のような行動に対する抑止力になると考えられる。学外へのアクセス状況の一部を発表では報告する。

### 4. 物質工学科1年生に対するアンケート

2005年度の情報リテラシの講義で1年生にアンケートを実施した結果を示す。

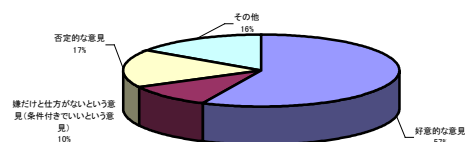
この事件を知っていますか？	知っている	22名 (31%)	知らない	48名 (69%)
掲示板について	知っている	64名 (91%)	知らない	4名 (9%)
「2ちゃんねる」について	知っている	47名 (67%)	知らない	23名 (33%)
掲示板に書き込んだことがありますか？	ある	10名 (14%)	ない	60名 (86%)
掲示板に書き込みみたいと思っ たことがありますか？	ある	3名 (5%)	ない	57名 (95%)
ネットで買い物をしたこと がありますか？	ある	25名 (36%)	ない	45名 (64%)

自宅から行うのと大学で行うのと社会的にみて違いがあると思いますか？

違いがない、どちらでも個人の問題	55名 (93%)
自宅からであれば個人の問題、大学からは大学の責任	4名 (7%)

大学の教育用ネットのログをとっていることについて

好意的	33名 (57%)
嫌だけと仕方がない	6名 (10%)
否定的	10名 (17%)
その他	9名 (16%)



### 5. 終わりに

討論会には、多くの学生の考え方を知ることができたという意義はあったと思われる。ネットでの買い物の経験者が多いなど学生の現状把握が必要であることがわかる。討論会で出された意見を今後どのように生かしていくかという課題が残されている。